

教科(科目)	地理歴史(地理総合)	単位数	2単位	学年(系) : 1学年必修
使用教科書	帝国書院『高等学校新地理総合』 帝国書院『新詳高等地図』			
副教材等	東京法令出版『新編地理資料 2023』 帝国書院『高等学校新地理総合ノート』			

### 1. 学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題追求や解決の活動を通じ、国際社会に主体的に生きる資質・能力を育成する。

①地理に関わる諸事象に関し、世界の多様性等を理解すると共に、地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

②地理的課題の解決に向けての構想力をはじめ考察、説明したり、議論したりする力を養う。

③地理的事象の学びを通して、よりよい社会の実現を視野に諸課題を解決しようとする態度を養い、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する態度と自覚を深める。

### 2. 指導の重点

①基礎的・基本的な知識の理解と定着を目指すとともに、読図力、統計やグラフの作成と活用力に加え、それらの表現や発表の力を身につけさせる。

②デジタル教科書をはじめとしたICT教材を利用し、地理的事象について興味・関心を深め、課題に対する考察力や表現力を身につけさせる。

### 3. 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関係を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者としてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとしている。

### 4. 評価規準と評価方法

	知識・技能 a	指向・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>ワークシート</li> <li>教科書作業や課題</li> <li>ノート点検</li> </ul> などから、評価します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>ノート点検</li> <li>ワークシートの内容確認</li> </ul> などから、評価します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>論述課題</li> <li>ワークシート の内容確認</li> <li>振り返りシートの記述の分析</li> </ul> などから、評価します。
	(40%)	(40%)	(20%)

### 5. 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動	評価の観点	評価方法
4	地球上の位置と時差	4 A 地図と地理情報システム	地球上の位置と私たちの生活 時差と私たちの生活	読図作業を基に地図や地理情報システムの役割や活用方法について理解	b a	ノート点検 ワークシート

	地図の役割と種類		地球儀と地図 身の回りの地図 統計地図の種類と利用 地理情報システムの利用	する。 作業を通して用途 ・内容・適切な活用 方法を考察し、表現 する。その上で主体的 課題追究の態度 を養う。	b a	ハト点検 教科書作業
	現代世界の国家と領域	4 A 結びつき を深める現代 世界	現代世界の国家 日本の位置や領域	現代世界の地域構 成を示す様々な地 図の読図を基に、日 本の位置と領域、国 内や国家間の結び つきについて理解 する。	c b	ワークシート (考察) ハト点検
5	グローバル化する世界		国家間の結びつき 貿易によって結びつ く世界 様々な交通網の発達 世界を結ぶ通信網の 発達 観光のグローバル化	国家や国家間の結 びつきを多面的・多 角的にとらえ、考察 し表現する。	c b a	ワークシート (考察) ハト点検 教科書課 題
	中間テスト	1			ab	定期考査
	生活文化の多様性	10 B 生活文化 の多様性と 国際理解	生活文化を考察する 方法 大地形と人々の生活 変動帯と人々の生活 安定地域と人々の生 活 河川が作る地形と 人々の生活 海岸の地形と人々の 生活 氷河地形・乾燥地形 ・カルスト地形と人 々の生活	世界の人々の生活 文化を基に、それが 地理的環境から影 響を受けたり、与え たりして多用であ ることや、地理的環 境の変化で変容す ることを理解する。 また、自他の文化の 尊重と国際理解を 図ることの重要性 を理解する。	a b b a a	小テスト ハト点検 ワークシート 教科書課 題 (読図)
6	世界の気候と人々の生活		気温・降水と人々の 生活 大気大循環と人々の 生活 世界の植生と気候区 分 熱帯の生活 乾燥帯の生活 温帯の生活 亜寒帯・寒帯の生活	世界の人々の生活 文化について、それ が見られる場所の 特徴や自然及び社 会的条件との関わ りに着目し、主題を 設定し、多様性や変 容の要因などを多 面的・多角的に考察 し、表現する。	a b b a c	小テスト ハト点検 ワークシート 教科書課 題 (グラ フ) 教科書課 題 (写真)
7	追究事例 自然① オセアニア		人々を引きつける多 様な自然環境		a b	ハト点検 ワークシート

	注：担当選択 追究事例 自然② 東南アジア		自然環境を活かした産業と人々の生活 モンスーンの影響を受けてきた人々の生活 気候を生かした農業と人々の生活	生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。	c	論述課題
	注：担当選択 世界の言語・宗教と人々の生活		世界の言語と人々の生活文化 世界の宗教と人々の生活文化		a b	ハート点検 ワークシート
	追究事例 宗教① 中央アジア・西アジア・北アフリカ		イスラームを中心とした生活文化 乾燥地域で暮らすムスリムの生活 変化するムスリムの生活		a b c	ハート点検 ワークシート 論述課題
	注：担当選択 追究事例 宗教② インド		インドの歩みとヒンドゥー教 宗教や自然環境の影響を受けるインドの食生活 変化するヒンドゥー教徒の生活			
7	期末テスト	1			ab	定期考査

8	歴史的背景と人々の生活	10 B生活文化の多様性と国際理解 (続き)	歴史的背景が人々の生活に与える影響		a b	ハート点検 ワークシート
9	追究事例 歴史① ラテンアメリカ		ヨーロッパ社会の影響が強い文化 大土地所有制が生み出した社会構造 外国資本による工業化と生活の変化		a b c	ハート点検 ワークシート 論述課題
	注：担当選択 追究事例 歴史② サハラ以南アフリカ		生活文化に残る旧宗主国の影響 植民地支配の影響が残るアフリカの産業 人々の生活の変化と経済成長への取組み			
	注：担当選択 追究事例 歴史③ ロシア		国際体制の変化が人々の生活に与えた影			

	注：担当選択		響 変化するロシアの産業		
	世界の産業と人々の生活		人々の生活を支える農業の発展 人々の生活を支える工業の発展 グローバル化する現代の産業と人々の生活	a b	ハト点検 ワークシート
10	追究事例 産業① アメリカ合衆国		世界に大きな影響力を持つ知識産業と資源 世界の食卓に影響を与える農業 産業の発展を支えてきた移民の力	a b c	ハト点検 ワークシート 論述課題
	注：担当選択				
	追究事例 産業② 東アジア		東アジアの経済成長とその歩み 経済成長による中国の生活の変化 経済成長による韓国の生活の変化		
	注：担当選択				
	追究事例 産業③ ヨーロッパ		E U統合と人々の生活 E U統合による農業への影響 E U統合による鉱業や社会への影響		
	中間テスト	1		ab	定期考査
11	複雑に絡み合う地球的課題	1 6 B 地球的課題と国際協力	相互に関連する地球的課題と園解決に向けて	a b	ハト点検 教科書課題 (写真)
	地球的環境問題		多様な地球環境問題 熱帯林の破壊への対策 地球温暖化への対策	a b c	ハト点検 ワークシート 論述課題
	資源・エネルギー問題		世界前エネルギー・鉱産資源 エネルギー利用の現状と課題	a b c	ハト点検 ワークシート 論述課題

			地域で異なるエネルギー問題への取り組み	は持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることを理解する。 先の地球的諸課題について地域の結びつきや持続可能社会作りなどに着目し、主題を設定して現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し表現する。さらに、それらを追究・解決しようとする態度を養う。		
	人口問題		世界の人口 発展途上国と先進国の人口問題 地域で異なる人口問題への取り組み		a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題
12	食料問題		飢餓と飽食 地域で異なる食料問題への取り組み		a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題
	都市・居住問題		世界の都市の発展 発展途上国と先進国の都市・居住問題 地域で異なる都市・居住問題への取り組み	a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題	
	期末テスト	1			ab	定期考査

1	日本の自然環境	8 C 自然環境と防災	日本の地形 日本の気候	国内外をはじめ地域で見られる自然災害を基に地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりを理解する。 ハザードマップや新旧図の比較など地理情報の読み取り技術など地理的技能を身につける。 地域性を踏まえた防災について多面的・多角的に考察・表現し、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。	a b	ノート点検 ワークシート
	地震・津波と防災		地震・津波による災害 地震・津波の被災地の取り組み		a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題
	火山災害と防災		火山の恵みと災害 火山と共生する地域の取り組み		a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題
	気象災害と防災		さまざまな気象災害 気象災害への取り組み		a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題
2 ・ 3	自然災害への備え		減災の取り組み 被災地への支援		b c	ワークシート 論述課題 と振り返り
	生活圏の調査と地域の展望	7 C 生活圏の調査と地域の展望	地理的な課題と地域調査 現地調査の準備 現地調査の実施 調査の分析と発表	生活圏の調査を基に地理的課題の解決に向けて探究する手法などを理解する。 地域の成り立ちや持続可能な地域作りに着目して、主題	c	地域課題の調査とまとめ 及び振り返り

			を設定し、求められることを他面炊き・多角的に考察、構想し、表現する。また、それらを主体的に追究・解決しようとする態度を養う。		
学年末テスト	1			ab	定期考査

計 64 時間 (55 分授業)

## 6. 課題・提出物等

- ・ 単元によって基礎的知識と技能の小テストがあります。
- ・ テーマによって論述課題の後に振り返りシートを記入し提出してもらいます。これは長期休業中の課題として出されるものもあります。
- ・ ワークシートは授業内容を補完する作業や課題で、主に授業中にしてもらい提出してもらいます。

## 7. 担当者からの一言

地理総合は地理的諸事象を土台に現代社会の成り立ちや、現在や未来に向けての諸課題を考察する科目です。そのため、身の回りにある風景やその背後にあるものなど多角的・多面的に探究し、まとめ上げる能力が求められます。そのような知識・技能と考え方を身につけ、さらには表現する力を養ってもらいたいと願っています。まさに地域を科学する。風景を理解する地理となるように頑張りましょう。地理という科目の面白さを理解してもらいたいです。